

# 学生支援

学業・研究はもちろん、生活を支援する制度も充実

## 研究活動等に対する支援

奈良先端大では、教育研究の充実・活性化を図るため、外部資金や科学研究費補助金などの多様な研究費の導入を積極的に図り、研究基礎の充実を図るとともに、研究の担い手としての大学院生の処遇を改善することに努めています。

## 基本構想

大学院学生は、学生としての側面とともに、若手研究者としての側面を持ち、大学院における研究の担い手としての役割も有している。大学院生のこのような諸側面に留意しつつ、その適切な処遇を図ることとする。

## 実施状況

### ティーチング・アシスタント (TA) 制度の実施

奈良先端大では、大学教育の充実と大学院学生への教育トレーニングの機会を提供するとともに、これに対する手当ての支給により、大学院学生の処遇改善の一助とするためTA制度を平成6年度から実施しています。博士前期課程2年以上の学生を対象として、講義資料の収集・整理・作成補助やレポートの採点補助及び実験の指導補助に従事し、指導・教育方法を学ぶことを積極的に進めています。

#### 平成21年度採用実績

366名採用  
待遇/年間20～450時間(時給1,234～1,476円)  
※担当時間数・時給については、課程・在籍研究科や予算措置状況により一律ではありません。

### リサーチ・アシスタント (RA) 制度の実施

RA制度は、国立大学などにおける研究支援体制の充実・強化並びに若手研究者の養成・確保を促進する方策として、優れた大学院後期博士課程在学者を研究プロジェクトの研究補助者として参画させ、学術研究の一層の推進を図るため、文部科学省が平成8年度から導入したものです。本学では、平成7年度からRA制度を全国の大学に先駆けて自主財源で実施しており、平成8年度から導入された文部科学省のRA制度と併せて研究支援体制などの一層の充実・強化を図っています。また、グローバルCOEプログラムを活用して、COE-RAを雇用しています。

#### 平成21年度採用実績

145名採用  
一般的待遇/年間37～1,368時間(時給1,234～2,042円)  
※担当時間数は、予算措置状況により変わります。

### 組織的な大学院教育改革推進プログラム

文部科学省が大学院の優れた組織的、体系的な教育の取り組みに対し、重点的な支援を行う「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に、本学の「新領域を切り拓く光ナノ研究者の養成」プログラムが平成21年度に採択されました。



### 積極的な海外派遣支援

共同研究、寄附金等の外部資金やグローバルCOEプログラム、支援財団による助成事業等により、学生が海外の国際学会等において論文(研究)発表するための費用(渡航費、滞在費等)に対する助成を積極的に行っています。

#### 平成21年度海外派遣支援状況

被支援人数225名  
一人当平均支援額19万円  
(平成22年3月26日現在)

### 奨学金

①日本学生支援機構奨学金(旧:日本育英会奨学金)  
学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の願に基づいて選考の上、貸与されます。日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与をうけ、在学中に特に優れた業績をあげたものとして支援機構が認定したのものには、学資金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

	入学時貸与月額など	
	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(有利子)
博士前期(修士)課程	次の受給額から選択 50,000円、88,000円	次の受給額から選択 5・8・10
博士後期(博士)課程	次の受給額から選択 80,000円、122,000円	13・15万円
前年度入学者貸与者	217名(86%)	51名(100%)

#### ②その他の奨学金

NAISTでは、日本学生支援機構奨学金の他に昭和教養振興財団奨学金、文部科学省私費留学生奨励費等の奨学金制度に採択されています。

### 入学金・授業料免除、入学金徴収猶予

経済的理由により入学金又は授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に、学費負担者が死亡し、又は学生若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学金又は授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考の上、入学金又は授業料の全額又は一部を免除する制度があります。また、入学金免除には、併せて入学金徴収猶予の制度もあります。



### 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、入学後の実験、実習等の正課中及び課外活動中の災害事故に対する全国規模の補償制度です。万一被災者となった場合、例えばその治療に長期間を要することになれば、本人はもとより家族の経済的・精神的負担は相当なものになることが予想されます。従って、本学ではそのような場合の負担を少しでも軽減するために、比較的安い保険料で加入出来るこの保険に、入学時、全員加入していただきます。

#### 保険料

博士前期課程1,750円  
博士後期課程2,600円

### 学生なんでも相談室

奈良先端大では、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。そういった学生生活を支援するために「学生なんでも相談室」を設けて、問題解決のアドバイスをしています。



学業・研究はもちろん、生活を支援する制度も充実

学生宿舎

奈良先端大では、619戸の学生宿舎を用意しています。研究活動に十分な時間を確保するためには、相当な負担を必要とし、居住費の低廉な学生宿舎へ入居することが、時間的・経済的な負担を軽減する一助となっています。また、24時間体制で研究活動をサポートするため、学生宿舎内には学内LANも配置され、宿舎にしながら電子図書館や国内外の学術研究機関へのアクセスが可能となっています。

**【入居者の選考方法】**  
入居者の選考は、主に入学試験の成績をもとに決定しますが、実家と大学の距離などの条件によっては、入居許可されない場合もあります。

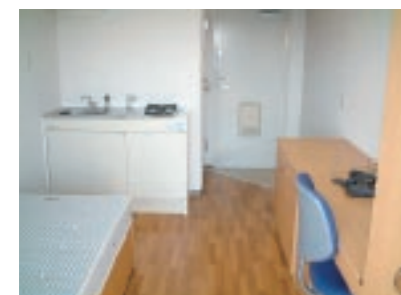


学生宿舎

■平成22年度入学者に係る入居状況

博士前期課程	博士後期課程	備考
147人 (57%)	52人 (100%)	( )は入居率 (入居者/入居希望者)

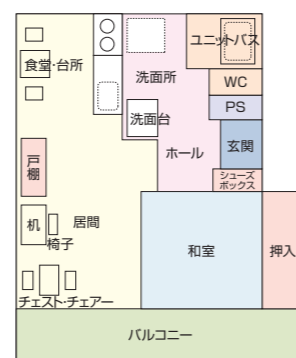
	単身用	夫婦用	家族用
居室数	559室	50室	10室
居室面積	13㎡	36.98~41.45㎡	51.56㎡
設備等	机、ベッド、ミニキッチン、トイレ等	机、キッチン、トイレ、浴室、洗濯機	机、キッチン、トイレ、浴室、洗濯機
共有設備	浴室、ランドリー室、ラウンジ等	—	—
寄宿料 (共益費込み)	月額 10,000円	月額 12,500円~13,300円	月額 15,300円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担



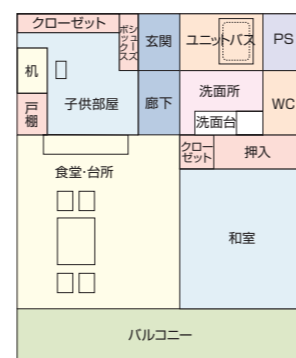
単身用居室



単身用居室



夫婦用居室



家族用居室

学生宿舎619戸 全戸インターネット常時接続可能 (無料)

■学生宿舎駐車場

駐車場は249台あり、利用希望者のほぼ75%程度が割当てを受けています。割当てを受けられなかった者は、公営駐車場を利用しています。なお、学生宿舎入居者が駐車場を利用するにあたっては、半年あたり3,000円~4,000円程度が必要です。



利用者の声 水井 俊文 情報科学研究科 博士前期課程1年

NAIST学生宿舎は学校に近いことが一番いいところだと思います。「想像以上に狭い…」それが入居したての人の大半の感想だと思います。しかし、住んでみるとなかなか居心地がよく、家賃の安さやインターネットが無料で使えることにも満足しています。不満があるとすれば、歩いていける場所に何も無いことです。ただ、研究に打ち込めるとい意味ではとても良い環境だと思います。さらに、校内にはトレーニングルームが用意されており、気分転換や運動不足解消のために利用している人も多いです。週末には宿舎のラウンジで友達とご飯を食べたり、ゲームをしたりと学生の輪も広がります。

大学借り上げ住宅【(独)都市再生機構住宅】

学生宿舎への入居が叶わなかった方、また入居を希望されなかった方の下宿探しの一助として、大学周辺の(独)都市再生機構(旧日本住宅公団)の3団地(中登美第三団地、平城第一団地、富雄団地)賃貸住宅を大学が借り上げ、希望者に提供しています。

- 家賃等の目安  
間取り1DK~3DKの物件 ●家賃:3万5千~5万円  
●共益費:3千円前後  
●保証金:なし

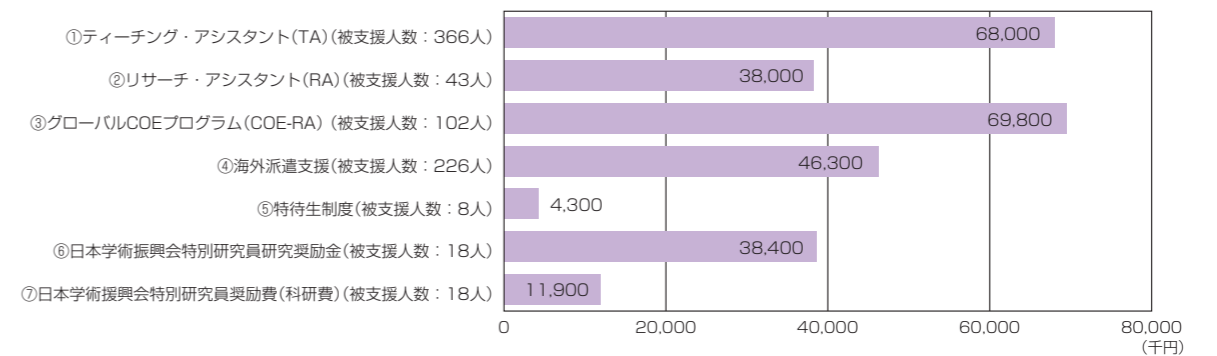
民間アパート等

アパート、マンションを斡旋する業者を紹介します。

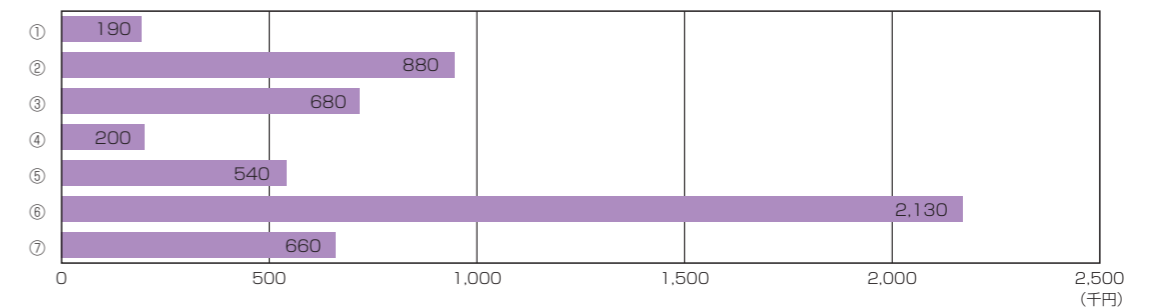
- 家賃等の目安  
(本学周辺におけるワンルームマンションの場合)  
間取り6~7畳の物件 ●家賃:2~5万円  
●共益費:0~5千円  
●保証金:5~20万円

大学院教育・研究活動支援

■支援総額



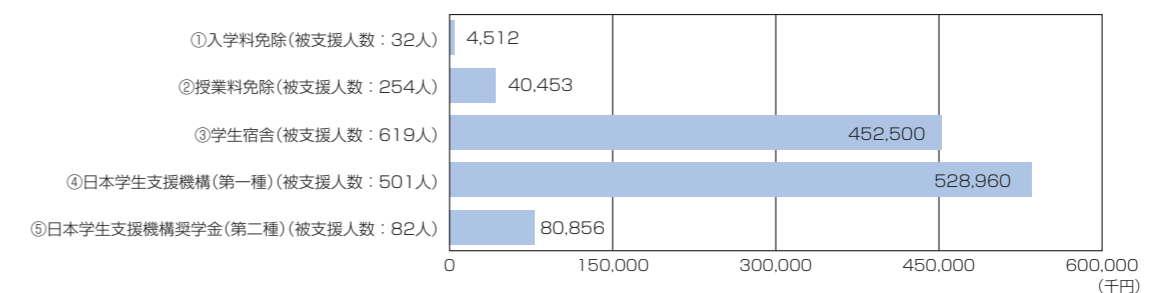
■一人当平均支援額



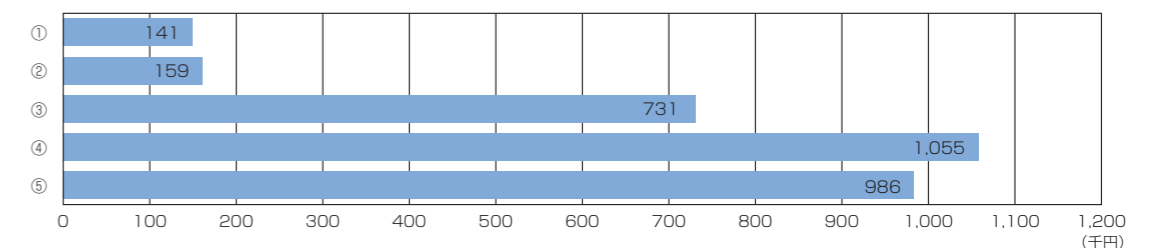
※上記支援額は、平成21年度における本学在学に対する経済支援の概算数値

学生生活支援

■支援総額



■一人当平均支援額



※1 上記支援額は、平成22年度における本学在学に対する経済支援の概算数値  
※2 学生宿舎にかかる支援額は、周辺の民間賃貸住宅を借用した場合との差額